

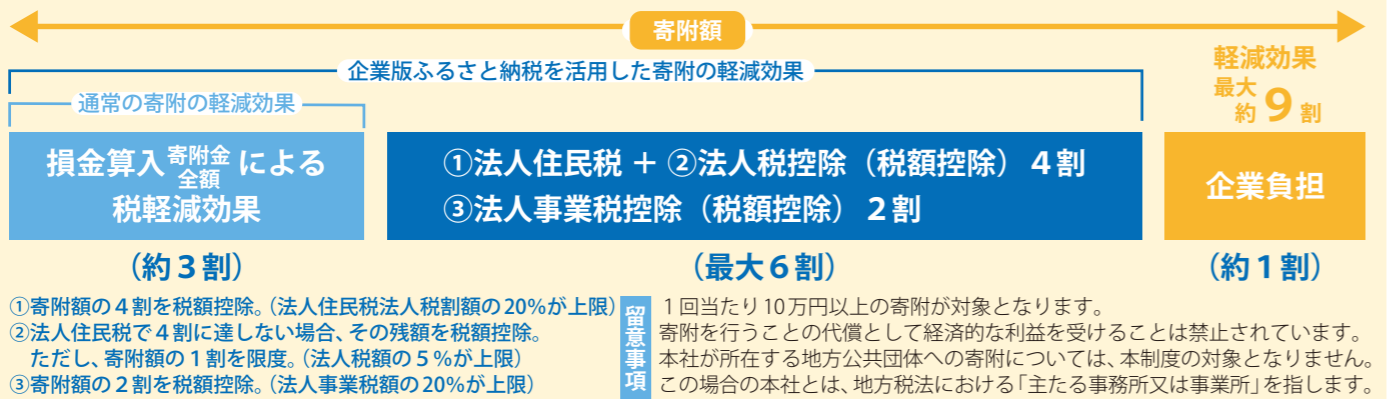
7 多様な交通ネットワークを生かしながら、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を図ります！
多様な交通ネットワークを生かしつつ、公共交通の課題解決の手段の一つとして、乗合タクシーの運行やデマンド型の交通サービスなど、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を図ります。
●乗合タクシー運行
路線バスに代わる新たな公共交通として乗合タクシーを運行
●オンデマンド型交通運行事業
島しょ部（大三島地域）における公共交通の維持と交通弱者対策として、フルデマンド型の乗合送迎サービス「チョイソコ」を2台導入

8 市内企業の人材不足解消とDX推進を進め、経済成長と市民所得の向上を実現し、稼げるまち今治を目指します！
AI人材育成など市内企業等で働く社員のキャリアアップ支援事業、スタートアップの育成・誘致を含めた起業創業支援事業、市内企業が抱える課題の解決や競争力強化を支援するための経営基盤強化事業を実施し、市民の所得向上と地域経済循環を目指します。
●A I人材育成事業
市内企業等の社員が自らAI技術等を活用することで、企業のデジタル化、省力化、省人化による生産性向上を図ります。
●スタートアップの育成・誘致事業
全国からスタートアップを目指す若者を今治に集め、スタートアップ企業を誘致することで、若者が地元で活躍できる環境を提供し、雇用の拡大を図ります。
●オープンイノベーション推進事業
外部から新たなデジタル技術やアイデアを取り入れ、市内企業の新たな付加価値や新産業を創出することにより産業競争力強化を図ります。

9 「地産地消の推進」「食育の推進」「有機農業の振興」の3つを柱に、食と農のまちづくりを推進します！
食への理解を深めることで、地域の農水産業の振興を目指します。
●有機農業推進事業
JAS法に基づく有機認証推進事業、有機農業研修生受入事業、有機農業就農サポート事業、有機新作物栽培実証事業などを行い、有機農業を推進します。
●地産地消推進事業
学校給食用食材等（減農薬米・麦大豆・地元畜産物・地元水産物・地元ジビエ）の流通や生産の支援、「有機野菜等を使った給食」有機農産物等の流通支援等を実施します。
●日本一おいしい学校給食事業
「日本一おいしい給食」メニューの開発等をおして小中学生への地元産の農林水産物や食の大切さへの理解と関心を高めます。

企業版ふるさと納税とは

国が認定した地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係から税額控除する仕組みです。損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、税額控除（寄附額の最大6割）により、最大で寄附額の約9割の税の軽減効果があります。
※寄附額によって軽減割合に変動がありますので、詳しくは税理士や所管する税務署へご相談ください。



企業のメリット

- SDGsの達成など
- 今治市との新たなパートナーシップの構築
- 寄附額の最大9割の税の軽減効果

寄附企業様には感謝状を贈呈し、本市ホームページで紹介いたします。



10 「住みたい田舎ベストランキング」全4部門2年連続全国1位！これからも「選ばれるまち」「住み続けたいまち」「戻りたいまち」を目指し走り続けます！
移住者の分析に基づくターゲット層を絞り込んだ効果的なPRや、住宅取得・改修の支援を実施するほか、お試し移住のサポート等を実施します。
●おいで今治！もどろう今治！魅力徹底分析・発信
今治市の魅力を徹底分析しWeb広告・PRコンテンツの刷新を行います。
●おいで今治！もどろう今治！お試し移住滞在サポート事業
移住希望者が本市を訪れる機会の創出、地域の活性化を目的とした移住希望者の現地活動費の一部を助成します。
●住もう今治！移住者住宅取得事業
市外からの移住者に対し住宅の新築又は購入に要する経費を支援します。
●住もう今治！住宅改修賃貸支援事業
市内の空き家所有者へ補助することにより空き家の市場化を促進します。

11 中心市街地活性化に向けたラストチャンスとの強い思いで本格的な検討に着手します！
人口減少や高齢化が今後も進む中、持続可能な都市づくりを実現するため、国が推進するコンパクト・プラス・ネットワークの視点に立った『賢く縮む』まちづくりを推進します。
●中心市街地グランドデザインの検討
中心市街地まちづくり構想に示されている将来ビジョンと、空間デザインを実現するための施策と手法を具体的に示した、中期的な計画である「今治市中心市街地グランドデザイン（今治市中心市街地まちづくり基本計画）」の策定に向けた検討を行います。

12 市民・地域・企業が一丸となり、2050年ゼロカーボンシティ、GXの実現を目指します！
温室効果ガスの排出を削減することを目的に、新エネルギー関連設備の設置支援、照明のLED化など、クリーンエネルギーを活用する社会構造への転換を促進します。
●GXセミナー
市内中小企業等のGX推進の意識・機運を醸成するセミナーを行います。
●公共施設LED化の効率的推進手法等調査業務
公共施設の一括LED化に向け、概算事業費や最適な工法を調査します。
●中小企業等先導的脱炭素化モデル創出支援業務
中小企業等従業員向けセミナー開催や脱炭素カルテの作成を通じて、企業の脱炭素化の先行事例を創出し、横展開を図ります。
●新エネルギー等関連設備設置支援
燃料電池、蓄電池及びZEHの整備費に対し助成を行います。
●家庭向けEV購入費補助
家庭での電気自動車の購入に対し助成を行います。
●急速充電設備導入支援
充電インフラの導入促進に向けた市内事業者等の設備導入に対する支援を行います。
●今治ブルーグリーンプロジェクト
海洋環境教育事業等を通じて、海洋ごみ問題に取り組む学校や団体、企業の様々な活動をの支援を行い、海洋ごみ削減につながる仕組みづくりを目指します。
●アクセラトレーニング導入事業
ハードル低く脱炭素化及び交通事故減少に取り組めるということを紹介し、市域全体での機運を醸成するため、アクセラトレーニングを市公用車に導入することで、ガソリン消費量削減（脱炭素化）及び職員の運転習慣改善を図ります。

※この他「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けられた地方創生に資する事業の中から、ご希望の分野・事業にご寄附をいただくことが可能ですので、お問い合わせください。



地方創生 応援税制

企業版 ふるさと納税のご案内

令和6年度版



最大で寄附額の 約9割の 税の軽減

企業版ふるさと納税を通じて一緒にまちづくりを進めてみませんか

新しい風で新しい今治市の実現へ

今治市は、愛媛県の北東部・瀬戸内海のほぼ中央部に位置する県下第2位、四国第5位の人口を誇る都市です。
東洋のエーゲ海とも称される多島美や世界的な観光ポテンシャルを秘めたしまなみ海道は、「サイクリストの聖地」として世界中のサイクリング愛好家から注目され、自動車専用道路の本線をコースとした国際サイクリング大会が開催されるなど、本市のシンボリックな存在です。また、日本遺産「村上海賊」に代表される歴史文化遺産や伝統芸能、温泉地や超一級品の農林水産物など多彩な地域資源が魅力となり、2024年「住みたい田舎ベストランキング」で2年連続全4部門全国1位を獲得しました。

また、海事産業では、ほかの地域に類がないほど集積が進んでおり、「今治タオル」で有名なタオル関連産業、石油関連事業、食品産業などを含め、四国有数の製造品出荷額等を誇っています。
本市は現在、これらの地域の強みと瀬戸内海の“へそ”に位置する立地条件を生かし、資金、消費、投資の流出を流入に変え、地域で所得が循環し、持続可能な都市を目指す「瀬戸内クロスポイント構想」を推進しています。
「今治市を応援したい」と思っていただけのように、市民が真ん中の理念でまちづくりを行ってまいりますので、なにとぞご支援を賜りますようお願いいたします。



今治市長 徳永 繁樹

1 日本最大の海事都市の更なる発展を目指し、人材の育成支援や港の機能整備を行います！

海事産業の魅力を若者に伝える事業の実施や造船業・船用工業などで働く熟練工の卓越した技術の伝承を図るとともに、人流・物流・交流の拠点としての機能を備えた海事都市を象徴する港の整備を実施します。

●海事都市魅力発信事業

「海事都市・今治」の魅力を伝え、将来の就職先候補として海事産業が認識されることを目的に、若者向けにバリシップや進水式・各工場の見学会・イベントなどを実施します。

●海事人材確保・育成支援事業

海事産業就労者の育成や新たな就労者の確保などを目的に、海事産業を支える技能・技術の訓練を行う「今治地域造船技術センター」の運営を支援します。

●みなと機能整備事業

海や港と共に発展してきた海事都市今治の魅力を市内外に発信するため、港湾施設等の改良や修繕を行い、物流・人流・交流のための安全な利用環境を整備します。



2 「サイクルシティ IMABARI」の実現を目指し、サイクリストの聖地しまなみ海道を世界へ発信します！

官民一体で自転車の活用推進と安全安心な利用環境を整え、しまなみ海道を核とした地域の活性化により「サイクルシティ IMABARI」の推進を図ります。

●サイクルシティ推進協議会事業

しまなみサイクリングの新たな楽しみ方である「ササ飯(サイクリング×サウナ・温泉×グルメ)」事業の実施、子どもから高齢者まで各カテゴリーに応じたきめ細やかな自転車交通安全教育の推進など、自転車と共生したまちづくりに取り組みます。

●グレーターしまなみ・えひめ推進協議会

県市町連携により、広域サイクルツーリズム圏域「グレーターしまなみ・えひめ」(GSE)を形成し、スタンプラリーやライドイベントの実施、サイクリトレインのPR等を通じて、「滞在型」観光への転換と誘客促進を図ります。

●自転車通行空間整備事業

サイクリング観光客をはじめとした自転車利用者の安全・安心・快適な通行空間を確保するため、今治駅からしまなみ海道までの自転車通行空間を整備します。



3 365日のにぎわいと交流の拠点に！さらなるスタジアムの進化に向け、FC今治の今治里山スタジアムプロジェクトを応援します！

FC今治の今治里山スタジアムプロジェクトを支援し、スポーツ振興だけでなく、スタジアムが周辺企業との相乗効果による「にぎわいと交流の創出拠点」となり、さらに今治市を全国に発信する拠点づくりを支援します。

●FC今治サッカー専用スタジアム建設プロジェクト
寄附金を「今治市スポーツ振興基金」に積み立て、そのうち9割をスタジアム建設等資金に活用し、残りの1割は今治市のスポーツ振興のため活用させていただきます。



写真提供:FC今治 撮影:川澄・小林研二写真事務所



4 「子どもが真ん中で輝くやさしいまち“今治”」を目指し、今治版ネウボラの拠点施設の整備検討を進めます！

今治版ネウボラの推進及び拠点施設の整備検討に加え、ネウボラ中核施設のサテライト機能を持った「乳幼児専用エリア」や「キッズパーク」を市内各地に整備します。

●子ども未来基金事業

今治市子ども未来基金を活用して、今治版ネウボラ拠点施設の整備をはじめとして、本市の子ども・子育て家庭に寄り添った切れ目ない子育て支援を展開します。

●木育スタート事業

本市の豊かな自然環境への理解や、温かみのある木材とふれ合うことで豊かな心の形成を目指す「木育」を推進するにあたり、ウッドスタート宣言を行い、新生児への誕生のお祝いとして「木のおもちゃ」を贈呈します。

●遊び場サテライト公園整備

町谷団地跡地を地域の賑わい広場(町谷きっずパーク(仮称))として整備するほか、既存の公園に乳幼児が安心して遊べる空間(すくすくガーデン)を整備し、ネウボラ拠点施設の遊び場サテライト(サブベース)として全世代が子育てに寄り添える環境づくりを行います。



写真提供:©クレアテゴ



5 「i.i.imabari！」教育 version (郷育) を推進します！

産官学が連携し、今治の課題発見・解決策を提案する学習過程を全中学校に展開することでふるさとキャリア教育の充実を図り、今治を舞台に世界を相手に活躍できる人材を育成します。

●ふるさとキャリア教育推進事業

(小学3年生～中学2年生)

- ・総合的な学習の時間に今治の魅力を感じる体験型プログラムを実施することで、今治への愛着心を育みます。
- (中学2年生)
- ・カリキュラムにPBL(課題解決型学習)を取り入れることで、思考力・判断力・表現力を育みます。
- ・最終授業は、アシックス山里スタジアムにおいて全中学校の代表者が参加する成果発表の機会を設け、プレゼンテーション能力を育成します。



6 自助、共助、公助の連携により、災害に強い安心・安全なまちづくりを進めます！

多様な地勢や産業構造に対応するため、地域の特徴に合わせた消防・防災機能や訓練の充実を図るほか、自主防災組織の育成・強化など、市民の自助・共助機能を高めるための啓発活動や支援を促進します。

●防災装備等の充実

災害時に必要な物資の備蓄等を進めます。

●地域防災力の向上

地域防災力の担い手として、防災士や自主防災組織の育成等を推進します。

●防災訓練の実施

防災訓練を実施し、防災体制の一層の充実強化を目指します。

